

全 教 学校司書部

ニュース No.131
2015.9

このニュースは増し刷りして
学校司書のみなさん
にお配りください。

E-mail toshokan@educas.jp

第27回定期総会・全国学校図書館学習交流集会

8月2～3日、京都市にて、22都道府県84名の参加を得て、第27回定期総会・全国学校図書館学習交流集会が開催されました。今回は、参加者の感想を中心に報告します。詳細は、後日発行予定のタブロイド版学校司書部ニュースで報告いたします。

定期総会

2014年度活動のまとめ、2015年度運動方針・予算案・役員改選などの議案はすべて採択されました。今年4月に、「改正」学図法が施行されましたが、小中では一部採用が進んでいるものの高校は厳しい状況が続いています。文科省等の動向を見据えながら、今後の活動の進め方について方針が出され

ました。

★新役員です。よろしくお祈りします★

部長	好岡 和男 (大阪)	常任委員	戸田 多津子 (福島)
副部長	坂田 洋一 (富山)	常任委員	小此木みのり (埼玉)
副部長	籠橋 千里 (岐阜)	常任委員	河野 仁美 (長野)
事務局長	山田 早苗 (京都)	常任委員	湯峯 登詩 (和歌山)
		常任委員	白川 典子 (高知)

各県の様子をきいて、「学校司書」法制化が必ずしもいい方向にだけ向いていないことがショックでした。(滋賀・高校)

法改正のこのタイミングで強い働きかけが必要だと思います。高校の後退に歯止めをかけ、小・中の前進になる、とても大切なポイントに来ているのでは。(長野・高校)

かけすぎたと思う。全県の声は聞きたかった。指名されて発言を求められないと声をあげにくい人もいると思う。もう少し運動方針についてもつつこんで話があっても良かったのでは？(京都・高校)



★今年も以下の署名にとりくみます。

「専任・専門・正規の学校司書の配置を求める請願署名」

「学校図書館の充実を求める署名」

集約●第一次 11月30日 ●最終：1月29日

★同送のリーフレット・チラシも活用し、各都道府県でのとりくみをお願いします。

学習交流集会

記念講演 「狂言という名のお芝居」

茂山正邦さん (茂山狂言会)

狂言の歴史など基礎知識から、実際に声を出してみるワーク、最後には狂言「魚説経」の実演と、短い時間に盛りだくさんの内容で大好評でした。

芸術鑑賞でしか見たことがなかったのが、実演まであって見ごたえがありました。想像力で場をイメージする、決まった型をつなげて演じるなど、小説や読書と通じるものがあるなあと思いました。(京都・高校)

狂言の歴史を伺い知らなかったことも多く、とても勉強になりました。声を出すのは抵抗がありましたが、こういうことは動いてみないとわからない。やってみたら意外と楽しかったです。(長野・高校)

狂言をこんな間近に見たことがなく、その迫力に圧倒されてしまいました。笑いと言きの体験も楽しかったです。(兵庫・高校)



分散会

☆今年度の特別テーマは、「図書館だより」でした。レポート以外に各自持ち寄った図書館だよりについて報告、意見交換しました。

★第1分散会 レポート

「北九州の学校図書館教育について」(高津純子・北九州) 「福知山市立図書館との連携を中心に」(岡本みさき・京都高) 「生徒図書委員会の地域参加～高遠ブックフェスティバル・図書館まつり～」(河野仁美・長野高) 『『小ネタ』連発で人を呼び込め!』(松井千佳・京都高) 「HPを使ったPR活動の挑戦」(山野町子・北海道高) 「特別支援学校実態調査の実施」(山野町子・北海道高) 「司書委員会は何してる?」(司書委員会・京都高)

(第1)小・中で頑張っておられる臨採の方々の声がきけてよかったです。小学生にこそ、充実した図書館が必要、全くその通りです!(京都・高校)

(第1)たくさん実践例をきくことができ、大変勉強になりました。戻ったら参考にしたいいろいろやってみようと思いました。小・中学校の臨時の司書職員の声が聞けたのも良かったです。(北海道・高校)

★第2分散会 レポート

「英語科と学校図書館の協働」(山田早苗・京都高) 「楽しい学校図書館、楽しい図書委員会活動」(木村とも子・秋田高) 「図書館から発信する広報」(香西瑠衣・京都高) 「ピブリオバトルをやってみよう」(藤田智子・高知高) 「学校図書館、本当のところ…」(松井奈保美・青森高) 「司書委員会は何してる?」(司書委員会・京都高) 「高校国語総合 小説『羅生門』実践事例研究—古文・日本史との融合と多様性を問う—」(小池由美子・埼玉高)

(第2) 普段は聞くことのない高校の図書館運営や司書の仕事について伺うことが出来て興味深かったです。刺激を受けました。府県によっても違うし、小・中・高によっても違います。広い視野が必要ですね。わからないから同じ状況の者たちだけで深めるのではなく「知る」ことそのものの意義を感じました。ただ、分散会のテーマがもう少し分科会形式に分かれていたら、もっと参加しやすいかもしれないですね。こうした集まりの発展した形としてそうなるといいなと思います。(京都・小)

(第2) ABC の柱で様々な角度からレポート発表され、中味も大変濃く勉強になりました。学校図書館の発展には、専任、専門、正規の司書が欠かせないとますます感じました。(埼玉・高校)

(第2) 校種はちがいますが、どの学校図書館でも地道な努力をされて奮闘されている様子がよくわかりました。図書館になじみのない今の子どもがとても多いこと、その中での様々な取り組みは、マネをしてみたいものも多かったです。(京都市・小中)

「みんなで 21 世紀の未来をひらく教育のつどい—教育研究全国集会 2015」

「教育のつどい」が 8 月 16 日～18 日宮城県仙台市で開催され、教職員・父母・市民など、のべ 5000 人が参加しました。16 日は TBS 「報道特集」キャスター金平茂紀さんの講演と、7 つの教育フォーラムがあり、17・18 日の 2 日間は 28 の分科会でレポート発表と討論をおこないました。第 23 分科会「文化活動・図書館」には 27 名が参加し、10 本のレポートが報告されました。以下は第 23 分科会参加者の感想です。

- * (群馬・司会 田中 博) 地域の祭りやむかし遊び、絵本の読み聞かせや文化祭、図書委員会や授業連携など多くのレポートを堪能しました。「発言がなく時間が余ったらどうしよう」といった司会初心者の不安は、残り時間にヒヤヒヤし「どう終わらせるか」の心配に変わるほど活発な意見が飛び交い、参加者の問題意識の高さに圧倒されました。活動が学校全体の取り組みになっている和田裕子さん(富山)の取り組みや、新鮮な発想で教員を巻き込んだ玉井敦さん(埼玉)の取り組みなど、「学校司書がいたらこんな事ができる」というイメージを参加者に伝えられたのではないかと。山田早苗さん(全教学校司書部)から学校司書配置の全国情勢などポイントを押さえた解説や、こども主体の文化活動と学校図書館、子どもの権利条約の観点から語る共同研究者など、大学教授や司書教諭、小中学校や公共図書館など、参加者の目線で語られる学校図書館像は新鮮でした。

★第3分散会 レポート

「文化祭クラス劇、はじめの一步!～図書館でサポートする『脚本選び』～」(村松常葉・京都高)
「学校図書館関係職員研修会の講師を担当して」(浦田直子・愛知高) 「新入生アンケート その傾向と対策」(井上伸・京都高) 「読書講座『レファレンスビンゴ大会』の取り組み」(稲岡寿美子・兵庫高) 「図書館づくり試行錯誤」(脇真由美・京都高) 「図書館活性化の方法を考える」(山本みゆき・長崎高) 「司書委員会は何してる?」(司書委員会・京都高)

(第3) 他府県の実践には自分の不足部分を教えてもらったり、ヒントがもらえることが多く、持ち帰るお土産もたくさんいただいた分散会になりました。(秋田・高校)

(第3) 今まで出た中で一番アツい研修会でした。(京都・高校)



閉会全体会 各分散会報告、初参加者から

の感想、集会まとめの後、次回開催地・愛知からのあいさつがあり、終了しました。

(閉会全体会) 専門高校・定時制・学校司書0(ゼロ)県というハンデを少しずつなくしていこうと思いましたが、皆さんの報告レベルまではほど遠いですが、頑張ります。参加してよかったです。(青森・高校)

(夕食交流会) 京都府の皆さんのおかげでとても楽しい時間が過ごせました。明るさと豊かな個性、京都の皆さんの組合活動を見習いたいです。組合は基本助け合いですね。各県紹介、とても良かったです。(長野・高校)

(夕食交流会) いつも夕食交流会に出ると、皆さんの色々な話を聞いて(みんな話がうまい!)感動して、また来年も参加しようと思います。今年は京都に全国の皆さんをお迎えできて、うれしかったです。また来年もお会いできるのを楽しみにしています。(京都・高校)

来年は愛知で!

写真左から、司会・田中さん、レポーター・和田さん、司会・宮本さん、宮城・学校司書の皆さま



- * (富山・レポーター 和田裕子) 初めての参加にしてレポーター。分科会ではみなさんのレポートにワクワクしたり、ホロリとしたり、みなさんスゴイ!と感嘆したり、と忙しい。読書は「ワクワク、ハラハラ、精神の集中と躍動」がある、まさに文化! あらためて学校図書館と文化活動について考えさせられた。
- * (宮城・分科会スタッフ 後藤和江) 「宮城で全国集会! いったいどうなるのかなあ?」という不安を抱いていましたが、全国からたくさんの方に仙台に集まっていただき、どの分科会も盛況、「数の力」を実感しました。さまざまな文化活動・図書館活動を学ぶことができ、「得した気分♡」の2日間でした。
- * (横浜・一般参加 八木静子) 初めて参加いたしました。神奈川の高校図書館でアルバイトをしています。分科会の感想をひとことと言えば「目の前がパッと開く思いがした」でしょうか。図書室は子どもたちが安心していられる場・静かに本を読む場だけでなく、子どもたちの生き方を励まし、学びを支える場だと実感できました。
- * (全教学校司書部 山田早苗) 実践交流のなかで「学校図書館って面白いと思った」「図書委員とまた活動したい」との発言が出て、なんだか嬉しく、そして、少し誇らしく思いました。